

各区のふるさと会紹介

# 末広・高田三和交流會

末広・高田三和交流會会長

安達正昭

平成十七年は、戦後六十年と云う節目の年、遡る事六十一年前、昭和十九年八月三十一日に、東京葛飾区末広小学校児童が集団疎開として、上野駅を夜行列車

で出発、翌日の九月一日新潟は高田駅に到着、プカプカドンドンの音楽隊の歓迎式、駅前四つの宿舎におさまりました。

通学は東本町と大町の両小学校に分散

この年の十二月八日には高田でも十数年ぶりの大雪が降った事、商店街の雪のトンネル、金谷山でのスキー教室等、全てが当時の小学生には初体験でした。

昭和二十年の七月には戦局のきびしさから現在の三和区に再疎開しました。

昭和四十九年八月二十三日に学童集団疎開三十周年記念行事が大町小学校で行

われ、この時の出席者の総意で生れたのが母校の末広とゆかりの高田市の名をとり、末広・高田会が発足しました。

そしてこの時の資料が三和村の役場で発見され、当時の関口校長の計らいで三和村を訪問、この時に出来たのが、末広・三和交流會。

平成八年から十年、十二年、十四年と四回三和村を訪問、関口・高倉両村長の御配慮、役場の皆様、地元の方々に厚く御礼を申し上げます。七年間お世話になりました。

此の度の合併により一応の終止符がうたれた形となりましたが、末広・高田会はまだまだ続きます。七月二十三日に会合を持ちましたが、この日は震度五強の

地震があり、忘れられない日となりました。



昭和19年9月



集団疎開30周年記念 S 49.8.24 於 東洋館